

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5



LA911
2



獅子門



帖

西武連



43

安政又戊午年

西氏連中

兼目

とてはるゝ連の... 兼目と申すは...
直後... 兼目と申すは...

枚下店

おちろ... 紙... 子... 始... 子...

舗... 移...

移...

新... 世...

松下師坊より書き送りの文を存す

影の書に云々

益草

影の書に云々 床や二又の鏡の如 金無

春草

若水やおのり 舞くむと 男 松彦

正風舎

一トと習のよ山 針切のやうな唇 可逆

魚角亭

うらまのま下 一ふり 鏡餅 傾山

大徳の年上陽の... 官名... 陽... 中... 官...

... 松彦... 竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

後のを... 竹... の...

文経亭

おろく 唐くちりに 漆く 紙日 鏡 安積

影の書に云々

幸一 鏡の書に云々 竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

竹... の... 竹... の... 竹... の... 竹... の...

東くく君の志しや扇花のほ 海花
串杯のきき玉中し一里の春 水板
くく君のおししくの福のひ 影清
初飛之や新葉花燈りく 清泉
あしうし免えくは色くし物書 晴心
初雪や梅のまきく時々の花 志月
雪はく雪の屋と残く世のまら 交心
あしうし書命のまら 始 喜月

下京

初いむくあしうしくくやまら 祝 三景
あしうし君のまら中くくお日のま 松山
若水や梅のまらくく志しむ 春新 春声
あしうし君のまらくくしりりくくお日のま 醉月
月心くくまらくく世のまらくく 尊 尊
梅くくくくお日のま 春新 春声
あしうし君のまらくくしりりくくお日のま 醉月
あしうし君のまらくくしりりくくお日のま 醉月
あしうし君のまらくくしりりくくお日のま 醉月

上京

常しき人七部永田の喜 桂枝

杖の影黒田の影 又影

多と及びまゝの影安

草一葉の中よまゝの影梅宮

掛との声若原静くくくく 竹溪

松竹の影川原清くくくく 影

川原の影川原清くくくく 影

草よまゝの影柳の影

おきくくくや年代の影影めぬ影

おきくくくや年代の影三ツ矢めぬ影

おきくくくや年代の影影めぬ影

おきくくくや年代の影影めぬ影

おきくくくや年代の影影めぬ影

おきくくくや年代の影影めぬ影

真

おきくくくや年代の影影めぬ影

筆法の傳る明地や草草 去凡

可くくもい海より少く 筆を在 之業

水代りや水森の如き 新深き 桃里

隈より魚をこ袖に持てぬら 乃とて麻 ちま

園よりく歌あはく言や 梅のち 筆趾

筆や歳交ふてく言く 枝 赤忌

片より双帯と投く 古糸 澄山

眉落と糸のまてく や葉の茶 沼月

恙のや古の存する 鼻 桂枝

おぬくちよ女のまよりく 葉のあ ぶき

本のちりりの山にけく 葉の月 安く

垣結みく 藤より 葉のち 梅雲

系成あく ぬけく 葉のち 竹汗

そ中よ 葉のち 葉のち 桜 念只

ちりちりや おまより 葉のち 葉のち 里凡

えくくを 葉のち 葉のち 葉のち 梅ま

梅の枝ゆくゆくはくはくはくはく
 思ひ深きゆくはくはくはくはく
 麦の畝ゆくゆくはくはくはくはく
 雪井ゆくゆくはくはくはくはく
 廻板ゆくゆくはくはくはくはく
 阿の下の屋はくはくはくはく
 青麦の中はくはくはくはく
 積ゆくゆくはくはくはくはく
 杉産

赤永の葉ゆくゆくはくはくはくはく
 赤永の葉ゆくゆくはくはくはくはく
 堀ゆくゆくはくはくはくはく
 大谷の依ゆくゆくはくはくはくはく
 三ひたゆくゆくはくはくはくはく

三年一尾

世に遊る人もあはくはくはくはく
 梅の枝ゆくゆくはくはくはくはく
 有縁人
 三ひた

陰のちかほはきりくくと年一と 其声

解橋や霧よももみ空水と云 等々

そのまじくぬふくくもくくく空をのり 東風

隠れ家の名も似て空に解の音 陰山

まき新や掃とくくくもくくく 海月

まき掃とくくくくく空の掃除くふ 桂枝

まき切らむと嘉例らり年一の希 又音

あまらり年の名残り我陰の境 安と

まきよりもくくくくく積る年の音 梅窓

陰のまきと掃とくくくくく年一の希 竹溪

門松もまきと掃とくくくくく年一の希 念と

まきと掃とくくくくく年一の希 里凡

まきのまきと掃とくくくくく年一の希 掃と

まきと掃とくくくくく年一の希 まき山

化糞してまきと掃とくくくくく年一の希 南川

まきと掃とくくくくく年一の希 徐路

氣の合つてなと集まてく一年迄 一矢
孫く猫連をくく退きくく輝拂 簾凡
門敷とひあくく買くくやまをふけ 捷徑

表の縁松よりく表の板下居あけ

表板よりく響ありて年々の音 文雅く人
表をくわく買くくわく年々の利きん 息角く人
表のほつきあつてく一年迄 心月く人
子山積く積くや一年の音 儀 蒼蒼く人

和待鼓餅搗又言

表表く人

搦人もさゆくくも 表より買く氣物く
拍子よく切あてて 表くまの餅迄

細言 表ハ表

社中の一とく一と板下居場の
細言の拍子く

川

表のく大はのくトや年々 表
表のく表の敷も積る音のあ 音く
表の年よりく余年一治りく 表
表の年よりく 表

きくく可掃除の存く存掃 妻娘
高ひも着の遠者も積もる事 可遂
鼻けたるうーきるさあううん 傾山
吟はくも月の桂若男 山 金虫
寂やさるるれさるる舞行く 松声

文魚

風や木の葉のまゝのまゝの掃き声 松月高

東歌

木匠のや火種のみくろ燭と道 松戸坊

浦和

山本歌

七松万葉集

子と孫と十八人や云配り 松下老人

世の中いさよと後や草の音 松源老人



